

チェコの図書館が仮想クラスタ用に Infortrend の SAN を選択

顧客

チェコ共和国、プラハ市立図書館

課題と要望

- ・ベンダーロックになる部材がない
- ・既存の SAN と簡単に接続
- ・バックアップ装置の容量が不足
- ・ソリューションの価格と永続性
- ・データ階層化アーキテクチャ

ソリューション

EonStor GSa 3000、SSD キャッシュ付き DS 4000、仮想化サーバー用 DS 1000:

- ・オールフラッシュストレージ GSa と SSD キャッシュ付き高可用性 SAN DS 4000 を重要なデータの主要な保存先にする
- ・DS 1000 で二次的な運用作業に使う
- ・拡張可能な HDD の容量は図書館のデジタル化した資料の保存に使う

「私達は 2013 年から Infortrend のストレージを購入してきました。私達には、他の有名ブランドの製品を使った経験もありますので、それと比較できます。Infortrend 製品は、それらに引け取りません。同等の性能と品質を『ブランドにかかる費用』抜きで提供してくれます。それと同時に、それら有名ブランドの持つものよりも新しく良い技術ソリューションを数多くもたしらしてくれます。私達は、Infortrend の性能と価格政策に完全に満足しています。」とプラハ市立図書館の IT 専門家は述べています。

1891 年に設立されたプラハ市立図書館は、チェコ共和国内で最も大きく、文化的、地域的に重要な役割を果たす図書館の一つです。図書館の IT チームは、図書館の近代化、デジタル化を行い、連続的に新しい技術の紹介に努めています。彼らの業務には、高い柔軟性と大容量を持った強力な SAN ストレージが必要で、それにより、仮想サーバーを操作し、デジタル化した資料のバックアップを行います。Infortrend は、図書館が行った IT プロジェクトの入札で何度も落札を勝ち取りました。

課題と要件:

- ・予算の範囲が定められた団体として、図書館は入札の条件が限られ、そのため、不要なベンダーロック仕様のない最適なソリューションを常に求めている
- ・既存の SAN アーキテクチャに簡単に接続できるブロックレベルのストレージが求められた
- ・バックアップを目的とした既存のストレージの容量は、既に不足していた
- ・ソリューションの価格と耐久性が非常に重要であった
- ・全てのデータが重要でも、頻繁にアクセスされるわけでもなかったもので、データの重要性に従って情報基盤の性能を最適化する必要があり、重要データの処理は、高速で行われなければならない

ソリューション: EonStor GSa 3000、SSD キャッシュ付き DS 4000、および DS 1000

EonStor GSa 3000、EonStor DS 4000、EonStor DS 1000 が仮想化クラスタ用共有ブロックデバイスとして選ばれました。最大 64TB のプールが複数の仮想サーバー毎に（高度な安全性を持った）RAID6 構成の 8TB ボリュームとして使われました。データは、仮想ワールド内（仮想サーバー、バックアップのリポジトリ、重要では無いデータなど）を必要に応じて移動しました。重要なデータはオールフラッシュユニファイドストレージ EonStor GSa 3000（IOPS 5,000 の性能と 1.5 ミリ秒以下のレイテンシ）と冗長コントローラ設計で、SSD キャッシュを持った高可用性 DS 4000 の上で扱われました。DS 1000 は、二次的な運用作業と、データのデジタル化作業用の容量として扱われました。図書館の IT 専門家を驚かせたことに、DS 1000 は、40 台の仮想サーバーの負荷と 2,000 IOPS でほぼ一定の I/O の下でも DS 4000 の作業を大きく軽減して、ボトルネックを解消しました。

Infortrend を選んだ理由

- ・入札を獲得できる優れた価格レベル
- ・複数の仮想サーバーを稼働できる高性能ブロックレベルサービス
- ・異なる仮想化環境に対応できる製品ラインナップの豊富さ
- ・既存の SAN 基盤との互換性
- ・バックアップと図書館のデジタル化したデータ用に拡張できる容量

プラハ市立図書館について

プラハ市立図書館は、チェコ共和国で最も重要で最も大きい図書館で、40 以上の分館を持っています。詳細については、つぎのサイトをご参照ください: <https://www.mlp.cz/en/>